

NOMURA

2025年10月期 第1四半期 決算説明資料

のむら産業株式会社 証券コード 7131

第1四半期の業績は、堅調な売上により前年同期比で増収増益

売上高

1,576百万円

前年同期比：+2.7%

営業利益

132百万円

前年同期比：+8.4%

親会社株主に帰属する
四半期純利益

83百万円

前年同期比：+10.0%

セグメント別売上高

包装関連が堅調に増収、物流梱包事業は通期予想通り一時的な減収

包装関連事業

1,359百万円

前年同期比：+6.5%

物流梱包事業

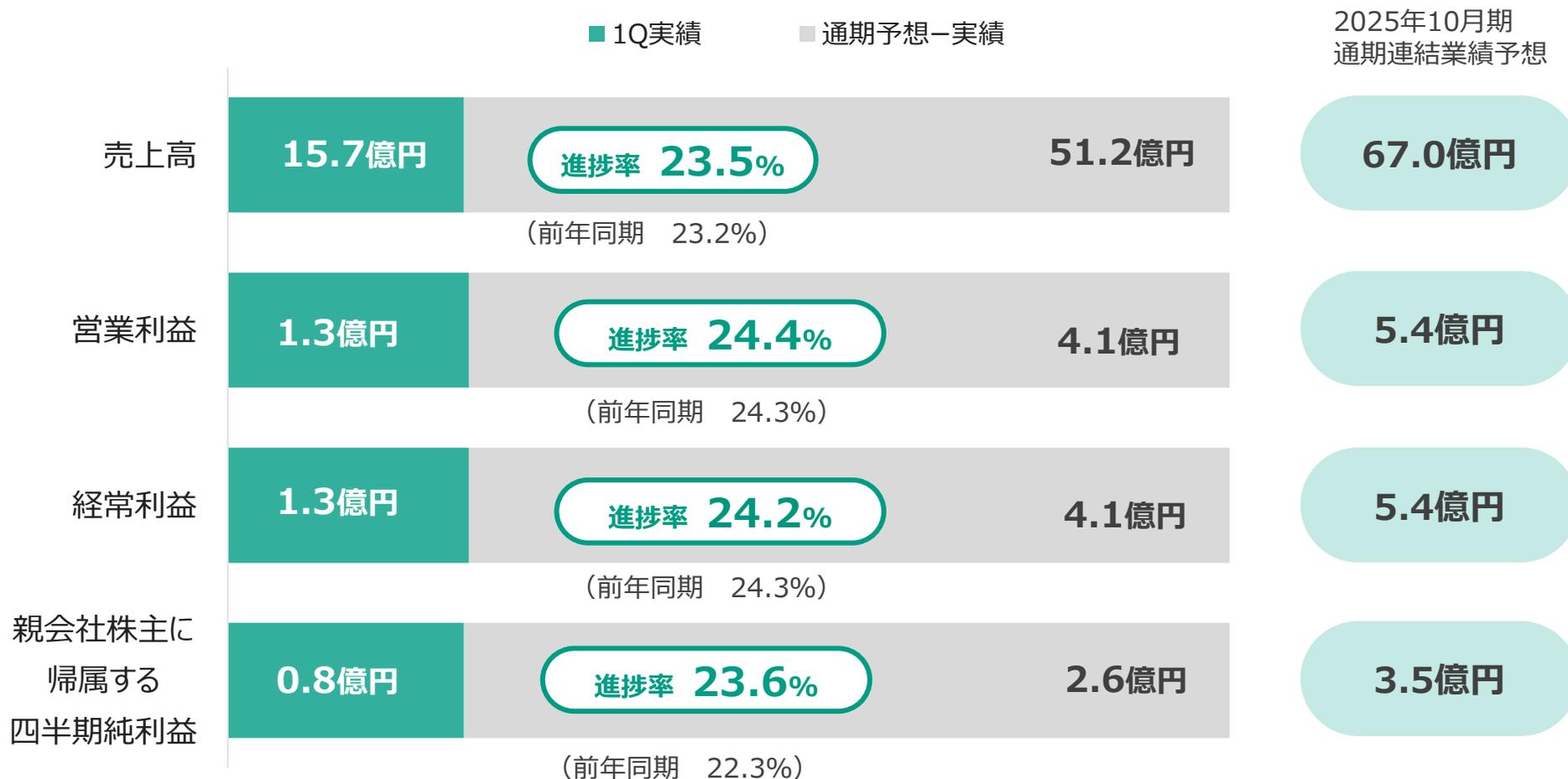
217百万円

前年同期比：△15.7%

コメ流通の需給バランスが不安定な中、 資材不足のリスク回避による、受注が増加

単位：百万円	24/10期 第1四半期		25/10期 第1四半期		前年同期比	
	実績	売上比率	実績	売上比率	増減額	増減率
売上高	1,534	—	1,576	—	+41	+2.7%
売上総利益	396	25.9%	410	26.1%	+14	+3.6%
販売費及び 一般管理費	274	17.9%	278	17.6%	+3	+1.4%
営業利益	122	8.0%	132	8.4%	+10	+8.4%
経常利益	124	8.1%	131	8.3%	+7	+5.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	75	4.9%	83	5.3%	+7	+10.0%

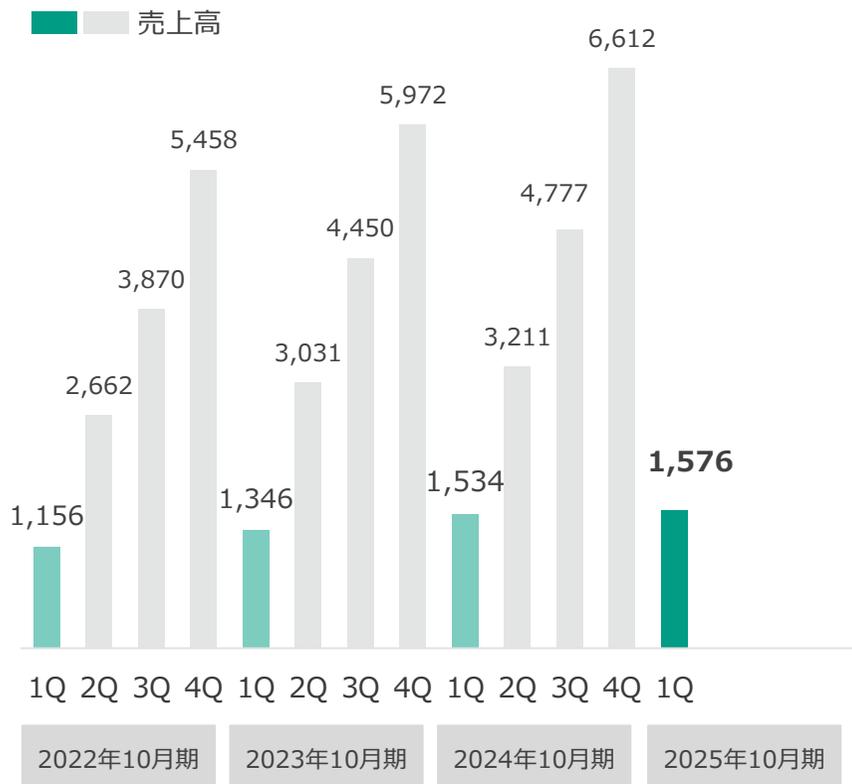
売上高、各段階利益の進捗率は、概ね計画通りに推移。



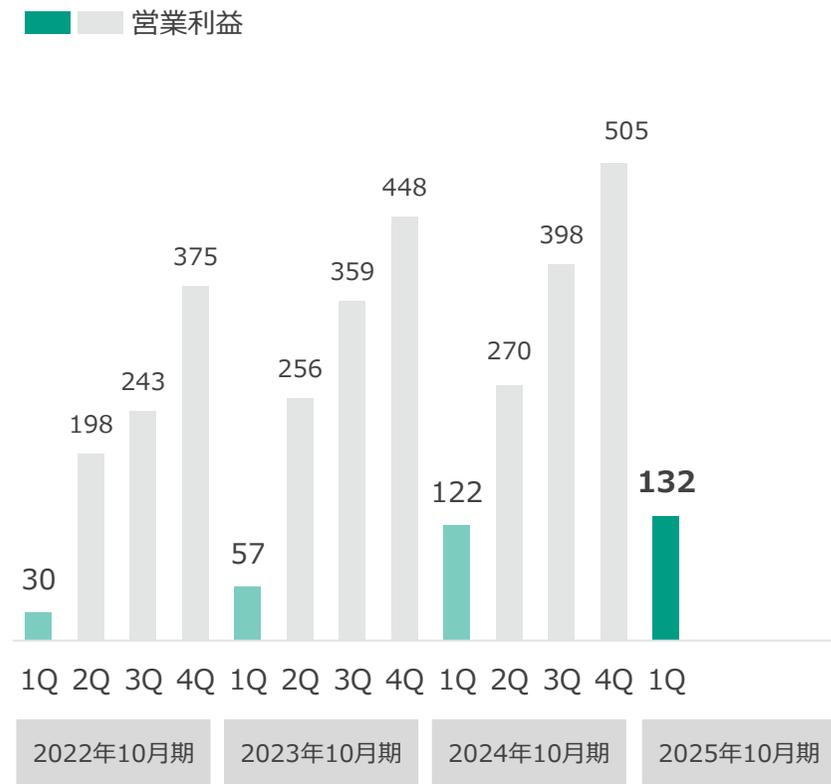
※前年同期の進捗率は、前年通年実績に対する前年同期における進捗率

第1四半期期間比較では売上、利益とも着実に成長

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



包装関連事業

増収増益

包装資材

- コメの需給バランスはやや改善されたものの、資材の供給遅れの懸念から受注が増加
- 原材料価格高騰も順調に価格転嫁

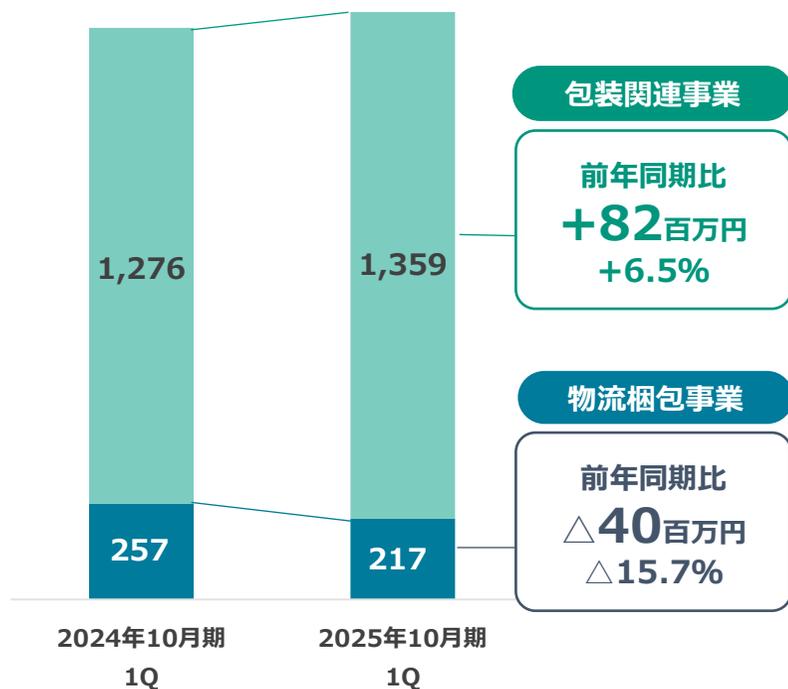
包装機械

- 前年同期相当の大型案件は少なかったものの、コロナ禍で中断していた海外への販促も再開し、タイ向けに当社製品を納品

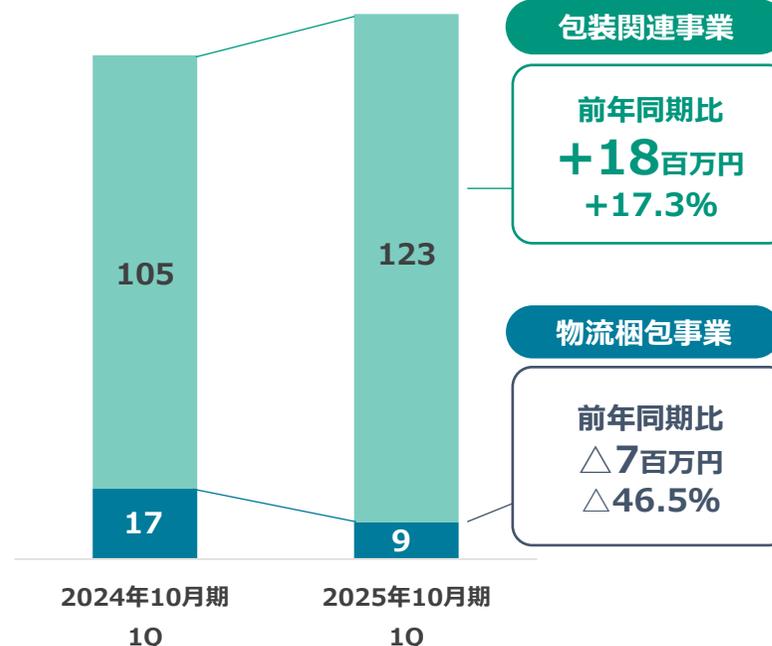
物流梱包事業

- 大手通販会社の低コスト梱包資材への変更により一時的な減収(通期予想に織り込み済み)
- 環境配慮思考の浸透により、紙資材への切り替えなどの引合が増加中

売上高



セグメント利益

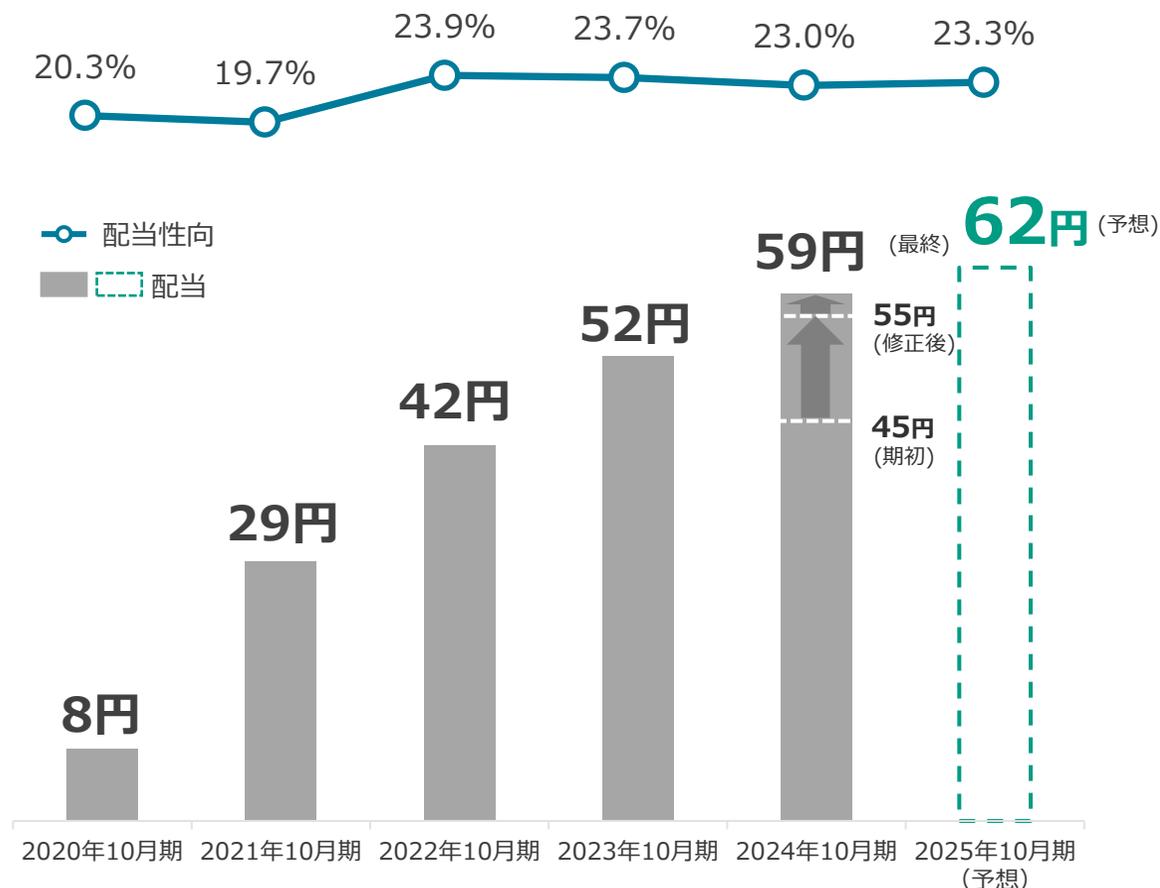


(単位：百万円)	24/10期	25/10期 第1四半期	増減額	主な増減要因
総資産	4,113	3,691	▲421	主に、売上債権回収により232百万円減少。 法人税等の納付、および賞与、配当金の支払いにより 現預金189百万円減少。
負債	2,201	1,774	▲427	主に仕入債務265百万円の減少、 未払法人税等、および賞与引当金111百万円の減少
純資産	1,912	1,917	5	主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、 および株主配当による利益剰余金の減少

2025年10期は、前期比で3円増配予定 引続き安定的な株主還元を目指す

基本方針

事業拡大に必要な内部留保とのバランスを図りながら連結配当性向25%程度を目標としつつ、**継続的かつ安定的な配当を実施**



※2020年8月12日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っており、1株当たりの年間配当金につきましては当該株式分割後の配当額を記載しております。

- 本資料は、会社情報、経営計画、連結業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

のむら産業株式会社 管理部

Web : <https://www.nomurasangyo.co.jp/ir/>